

Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校
学校だより 令和6年度6月号
HP:<http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

「挑夢」 令和6年度 体育祭 総合優勝：赤軍

今年度の体育祭のテーマは「挑夢(いどむ)」、「一人一人が夢に向かって挑んでいく」という意味が込められています。生徒一人一人が夢や目標に軍一丸となって挑んでいく姿が印象的な体育祭でした。6年生は見事にリーダーシップを発揮し、全校生徒の努力と協力する、そんな姿も見事でした。

【生徒会長・体育祭実行委員長 佐藤 詩織】

まず、体育祭のために御尽力くださった応援団、衣装、小道具係の皆さん、各委員会の皆さん、芸術班の皆さん、生徒会執行部の皆さん、そして生徒の皆さん、先生方、保護者の方々に感謝申し上げます。今年度も無事に体育祭を終えることができたのは皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

私は、体育祭実行委員長という役を通じて「気の持ち方」の大切さを学びました。体育祭は生徒にとって大きな行事で、一人一人が異なる理想や目的を持っていたことでしょう。そして、私はそれをあまり分かっていませんでした。そのため、どの意見を優先すべきか、ということに気をとられて時間を浪費してしまっていました。そうして悩んでいると、ある仲間が一言、「関係ないっしょ、気持ちっしょ。」視野が広がった気がしました。本人がどんな気持ちで言ってくれたかはわかりませんが、私には「悩んでいないで、前向きな気持ちでいったん行動してみなよ。」という意味に聞こえました。そこからは、もう本当に楽しく、前向きに体育祭まで突っ走ることができました。

「前向きな気持ち」を持つことは、実際に物事の成功率を上げてくれます。無料で、すぐにでもできるのでとてもおすすめです、やり方は、①深呼吸する、②「関係ないっしょ、気持ちっしょ。」と言う、③一步前に出る、です！

私が体育祭で学んだことについて書かせていただきました。皆さんは、体育祭で何を感じ、何を学びましたか？

【青軍応援団長 6年1組 梅本 ころこ】

今年度の体育祭を振り返ると、「楽しかった」という思いが強く残っています。青軍の皆さんもそう思っていてくれたらうれしいです。

今思えば、ダンスや隊形移動を何度も変更したにも関わらず、本番では素晴らしいパフォーマンスをしてくれた青軍応援団、時間や費用面等の制約があった中で想像力を駆使し、最高の衣装・小道具を作成してくれた衣装・小道具のメンバー、そして、数少ない練習の中で私の指示をしっかりと聞いて行動し、1回1回の練習を真剣に取り組んでくれた青軍の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの支えがあったからこそ本番では今までで一番素敵なパフォーマンスをすることができました。青軍の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、体育祭の開催にあたり、たくさんアドバイスをしてくださった先生方、そして、普段は“親友”、本番は“戦友”として一緒に戦い抜いてくれた赤軍応援団長の本間岬さん、本当にありがとうございました。

【赤軍応援団長 6年2組 本間 岬】

今年の体育祭は、6年間の中でも一番思い出に残る体育祭になりました。ですが、赤軍の皆さんにとったら難しいダンスや歌詞、前日まで変更し続けた隊形移動だったこともあり、負担をかけ続けていたと思います。それでも、本番までの短期間で必死に取り組み、たくさん練習してくれた赤軍の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、ずっと憧れていた団長になれたことの嬉しさがあった反面、正直不安なこともたくさんあり約2ヶ月間は大変な日々でした。しかし、応援団をはじめたくさんの人の支えがあったからこそ、最後は総合優勝することができました。衣装や小道具もテーマに沿ったものを作っただけで、赤軍の皆さんがより輝けた体育祭になったと思います。

本番のパフォーマンスは、私の想像していたもの以上に素晴らしく、みんながすごく輝いていて最高に楽しい時間でした！赤軍に関わってくれた全ての皆さん、本当にありがとうございました。



体育祭の結果

競技の部: **赤軍**

応援の部: **赤軍**

衣装・小道具の部: **青軍**

総合の部: **赤軍**



教育実習が行われました

5月27日より、3週間の教育実習が行われました。今年度は、1名の教育実習生が来校しました。教育実習の経験を、今後の人生にぜひ生かしてください。応援しています。

教育実習生からのメッセージ

柏木 美沙樹 先生 (養護教諭)

日に日に暑くなる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

この度は、三週間という長期にわたり教育実習をさせていただき誠にありがとうございました。実習終了後は、皆さんに会えない淋しさを感じながらも、元気に大学に通っております。

私は、三週間の実習の中で、保健室へ来室する生徒への対応の難しさを感じながらも、養護教諭の役割や、体育祭の救護、この季節ならではの熱中症予防や、環境整備など多くの学びとやりがいを感じることができました。

また、校長先生をはじめ、教員の皆様には、オリエンテーションや御講話、研究授業などあらゆる場面で、御助言、御指導をいただき、本当に感謝しております。実習を通じて多くの貴重な経験を積むことができ、自分の適性や課題を見つけることができました。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と佐渡中等教育学校の益々の御発展を心からお祈り申し上げます。

1学期中間考査

前期生は6月19日～20日、後期生は6月16日～20日の日程で、1学期中間考査が行われました。1年生にとっては、中等生として最初の定期考査となりました。どの生徒も、学習の成果を発揮できるよう、集中して考査前の学習に取り組んでいました。考査の返却が各教科で行われましたが、御家庭でも頑張った点や良かった点について話し合い、今後の学校生活につなげていってほしいと思います。

人権教育、同和教育講演会



6月29日、人権教育・同和教育講演会が行われました。敬和学園大学 一戸 信哉 様にお越しいただき、「SNS（インターネット）と人権、及び同和問題」をテーマに御講演いただきました。講演の中で、私たちを取り巻くインターネットに潜む危険性や、それを取り扱うための慎重さなどについて話してくださいました。生徒たちも真剣に聞き入り、SNSを利用する際の注意点、インターネットにおける人権問題などについて改めて再確認することができたかと思えます。